

平成 26 年度第 1 回機械工学教育 FD/ICT 活用研究委員会議事概要

- I. 日 時： 平成 26 年 4 月 14 日（月） 17:00 から 20:00
- II. 会 場： 私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者： 曾我部委員長、田辺委員、角田委員、田中委員、青木委員、高野委員
（事務局）井端事務局長、野本職員

IV. 議題概要

1. 平成 26 年度委員会活動の進め方について

- ・ 平成 26 年度の事業計画は、アクティブ・ラーニングへの取り組み方策について、分野別にテーマを設定し、研究を展開することになっている。
- ・ アクティブ・ラーニングを実現するための対話集会の標準形について説明がなされた。
- ・ アクティブ・ラーニングの実践事例を踏まえて、整理・研究し、授業の中でアクティブ・ラーニングの多様な取り組みを進めたいとして、大学の事例が紹介された。
- ・ 対話集会では、参加者に事前に「主体性を育む授業とは」のビデオを視聴、授業改善モデルを確認いただき、事例紹介の後、意見交換を通して、アクティブ・ラーニングの取り組みに入るヒントが得られるよう、取り組み実践の促進を促したい。
- ・ アクティブ・ラーニングは、評価が難しいので、どのように評価するか、到達度が達成できたかどうかについての議論を進め、その内容はビデオに収録し、整理したい。
- ・ アクティブ・ラーニングのポイントは、教育効果を上げるために、教員と学生間でいかにインタラクティブにするかである。

2. 各委員からの意見

- ・ 機械系では、実験、実習、プロジェクトを通して、アクティブ・ラーニングの手法が様々な形で用いられている。
- ・ 風車発電のプロジェクトの例では、ものづくり、プレゼンテーションや性能評価でアクティブ・ラーニングが用いられている。
- ・ プロジェクトでは、OB などによる社会の基準でのアドバイスは効果的である。
- ・ 基礎力をどのように培うかが重要。
- ・ 事前学習や事前教育が重要。
- ・ 教育では、いかにこまめに手をかけるかが重要。
- ・ 座学、事前学習でもアクティブ・ラーニングは可能。

3. 機械工学のアクティブ・ラーニング対話集会について

これらの議論を踏まえて、PBL から 1 件、座学から 2 件の委員 3 名からアクティブ・ラーニングの事例をそれぞれ 10 分程度で悩みを打ち明けるといった発表とし、そのあと参加者との意見交換を通してアクティブ・ラーニングのヒントを得る機械工学のアクティブ・ラーニング対話集会を行うことにした。

日程及び会場については、8 月 26 日あるいは 27 日に、13:30~15:30 の時間で法政大学の教室を会場として利用することで調整することにした。

今回の委員会では、その 3 件の事例案をそれぞれ提出することとなった。

V. 次回の開催日程

今回は、6 月 2 日(月)18:00 から委員会を開催し、3 件の事例案を検討するととなった。